

競技注意事項

1. 本大会は、2018年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 練習について

- (1) 本競技場での練習時間は次のとおりとする。
 26日(金) 13:00～17:00(トラック、跳躍、砲丸とする)
 27日(土) 7:30～9:30(トラックのみ)
 28日(日) 7:30～9:00(トラックのみ)
- (2) 補助競技場での練習は27日(土)・28日(日)7:30～17:00(トラック、跳躍のみとする)

3. 招集について

- (1) 招集所は、本競技場の第4コーナー100mスタート後方付近に設置する。
 (2) 招集時間は、競技開始時刻を基準とし、下記の通りとする。

		招集開始時間	招集完了時間
トラック競技	全ての種目	20分前	10分前
フィールド競技	走幅跳・三段跳	50分前	40分前
	走高跳	50分前	40分前
	棒高跳	70分前	60分前
	投てき	50分前	40分前

- (3) 招集は必ず本人が行い、完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものととして処理する。ただし、招集時間と他種目が重なる場合は、その旨をあらかじめ競技者係(招集所)に申し出、必ず招集を受けること。
 (4) 出場する種目を棄権する場合は、招集完了時刻までに競技者係まで申し出ること。
 (5) 各種目とも競技者の集合が完了したら、直ちに入場するのでその場を離れないこと。

4. 競技について

- (1) 競技者は、当該種目以外競技場に立ち入ることはできない。
 (2) 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。
 (3) トラック競技の判定は、すべて写真判定装置(電気計時1/100)で行う。
 (4) トラック競技においてプラス進出者を決める場合、その最下位で同タイムが出た場合(以下同タイム者という)は、判定写真を細部(電気計時1/1000)まで読み取り判定をする。それでも判定できない場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。
 (5) リレーのオーダー用紙について、予選は招集完了時刻の1時間前、決勝は招集完了時刻の30分前までに競技者係に提出すること。(オーダー用紙は1枚とする)
 (6) リレーに出場するチームは、同一のユニフォームを着用するものとする。(スパッツは同系色)
 (7) リレーのマーカーは、主催者の用意するものを使用することとするが、各自で用意したマーカーを使用しても良い。(大きさは50mm×400mm以内とする)
 (8) 「助力」に関することは陸連の規約通り。(通信機器の持ち込みは禁止)
 (9) 男子三段跳の踏切板は、男子12m、女子10mとする。
 (10) 本大会は、不正スタート1回で、失格となる競技会である。(国内適用)

5. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

	練習 A	練習 B	練習 C	1	2	3	4	5	6	
男子走高跳	1m70	1m85		1m75	1m80	1m85	1m90	1m93	1m96	以降3cm
女子走高跳	1m40	1m55		1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	1m64	以降3cm
男子棒高跳	3m60	4m20	4m40	3m80	4m00	4m20	4m30	4m40	4m50	以降10cm
女子棒高跳	2m20	2m60	3m00	2m20	2m40	2m60	2m80	2m90	3m00	以降10cm

- (1) 上記の通りとする。但し、天候等の状況により変更する場合もある。
 (2) 第1位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

6. 競技用靴について

スパイクのピンの長さは9mmを超えてはならない。走高跳・やり投の場合は12mmを超えてはならない。また、これらのスパイクの直径は先端が4mm以内であること。

7. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは、ユニフォームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。
- (2) トラック競技出場者は、写真判定用のレーンナンバーカードを招集所で受け取り、パンツの右やや後方につけること。(ただし、競歩、3000mSC、3000m、5000m、4×400mRの第2・3走者については、パンツの左右につけること)
- (3) 競歩競技出場者は、TICにおいて招集開始1時間前までに本人がナンバーカードを持参し、競歩競技者用のナンバーカードを受け取り、胸部と背部につけて招集を受けること。

8. 競技用具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものをを使用することを原則とする。
- (2) 「やり」は持参したものを検査を受けて使用することができる。
- (3) 検査は競技開始の90分前から60分前まで第4コーナー付近の器具庫で行い、その場で借り上げ、競技終了後同じ場所で返却する。

9. 表彰について

決勝で1～8位までに入賞した競技者は、表彰を行うので成績発表後直ちに本部室前に集合すること。

10. 抗議について

- (1) 競技中に起きた競技者の行為、順位に関する行為は、結果の正式発表後、30分以内（次のラウンドが行われる種目では15分以内）に当該競技者の顧問が口頭でTICに申し出ること。
- (2) 審判長の裁定に不服な場合は、上訴審判員に預託金10,000円を添えて文書で上告する。この預託金は、抗議が却下された場合は、返却しない。「上訴申立書」は担当総務員席（本部席）に準備する。

11. その他

- (1) 大会期間中に競技場で発生した傷病や疾病は、メインスタンド下の医務室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。
- (2) エレベーターの使用は禁止する。
- (3) 更衣室は、衣服の更衣のみに使用し、団体のベンチとして使用しない。
- (4) 大会運営に支障をきたすような応援は慎むこと。メインスタンドでの集団応援は禁止。
- (5) 各学校の責任で環境美化に努め、ゴミは持ち帰ること。
- (6) 競技場の開門は1日目・2日目ともに6:30とする。場所を巡ってトラブルやケガをしないようにすること。
- (7) 各校のベンチについて、競技場内・屋内運動場は各地区割り当てとする。また、場所確保、壁や柱に紙等を貼るためのテープ類の使用は厳禁とする。
- (8) 各校の部旗・横断幕は1枚のみ、のぼりは5本まで。いずれも芝生スタンド最上段のみとする。(設置は1日目の開門以降とする)
- (9) トレーナーステーションを100mスタート地点横のウォームアップ室に設置する。故障部位に対するテーピング、アイシングを中心とした処置を行う。ただし、コンディション調整を目的としたマッサージ・ストレッチなどは行わない。
- (10) 本プログラムには、大会要項にことわったとおり、競技者名・学年・所属校を記載し、また大会の結果発表、インターネットへの記載、上位入賞者については新聞等への掲載をするので、各校顧問ならびに競技者は承知しておくこと。